

グリーン

No.226

みどりのネットワーク通信

令和7年12月・令和8年1月号

緑のコーディネーター 養成講座が修了しました

12期生



お疲れ様でした

ご参加お待ちしております

緑のコーディネーター R7年度 意見交換会

緑のコーディネーターが一同に集い、情報交換・交流を行う意見交換会を今年度も開催します。皆さまのご参加をお待ちしています。

3月7日(土) 10:00~12:00
JRE 天神クリスタルビル 3F 大ホール
福岡市中央区天神 4-6-7

プログラム
R7年度 事業報告
R8年度 事業計画
交流会
認定証交付式(12期生)

*詳しくは別紙をご覧ください
(緑のコーディネーターのみ資料を同封しています)

11月18日の最終回ではその成果を発表し、創意工夫にあふれるアイデアが披露され、会場は大いに盛り上りました。続いて修了式が行われ、代表者の足柄佑貴さんに修了証が渡されました。修了された皆さまの今後のご活躍を心より期待しています。

今年6月から始まった全10回の「緑のコーディネーター養成講座」には多くの市民が参加し、67名が修了されました。花と緑のまちづくり活動の企画や運営について学ぶこの講座は隔年で開催されており、講座第4回以降は班ごとに分かれて市民緑化活動の企画・運営を実践しました。



緑のコーディネーター 372人
地域の森づくり団体 20団体
地域の花づくり団体 227団体
花壇スポンサー企業 162社
(令和7年12月20日現在)



おめでとうございます

Congratulations

10月12日(日)一人一花サミット2025で授与式が行われました。

第23回

花と緑のまちづくり賞

主催/(公財)福岡市緑のまちづくり協会

花と緑のまちづくり賞は、花と緑によるうるおいのある美しいまちづくりを推進するため、まちづくり活動に顕著な功績のあった団体を表彰するものです。

受賞

園芸福祉ふくおかネット



受賞

フラワーラブメイツ



入選

- 赤坂花壇に花を咲かせ隊
- 西南杜の花クラブ
- 横手花クラブ

motto
くわしくはこちらから



各団体のコメントは
こちらから

花と緑のまちづくり賞協賛

「花と緑のまちづくり賞」の審査委員を務められた、有限会社グリーンハウスベル（フクオカエフエクト）代表取締役の鐘ヶ江様が受賞・入選団体の皆様を応援するため、副賞として花苗をプレゼントしてくださいました。

special
thanks



副賞の苗

一人一花運動
事業功労者表彰

主催/福岡市

「一人一花運動事業功労者」として、今年3月のFukuoka Flower Show Pre-Eventハンギングバスケットづくり参加者89名及び講師10名の皆さんに贈られたものです。



Fukuoka Flower Show-PreEvent
ハンギングバスケットづくり参加者の皆さん



Fukuoka Flower Show Pre-Eventハンギングバスケットづくり講師
緑のコーディネーター 黒瀬恵子

一人ひとりが丹精込めて制作したハンギングバスケットが、会場を華やかに彩り多くの人の目を楽しませてくれました。花の力とともに人の力の素晴らしさを改めて実感することができました。微力ながらお手伝いさせていただけた事に感謝です。

Fukuoka Flower Show Pre-Eventハンギングバスケットづくり講師
緑のコーディネーター 吉松晃子

10月12日、「一人一花サミット2025」の会場で、福岡市の高島市長より、表彰状をいただきました。

これは個人におくられたものではなく「一人一花運動事業功労者」として、今年3月のFukuoka Flower Show Pre-Eventハンギングバスケットづくり参加者の皆さんに贈られたものです。表彰状の文面をご紹介します。「皆さまのおかげで、福岡のまちが彩りと潤いにあふれています。日ごろの活動に、感謝と敬意の気持ちを贈ります。2025年10月 福岡市」

今回皆さんを代表して、私が受け取りましたが、3月に一緒にハンギングバスケットを作ってくださった皆さんと喜びを共にしたいと思い、ご報告させていただきます。

その他にも表彰・受賞の声が届きました！

令和7年度

都市緑化功労者
国土交通大臣表彰

主催/国土交通省

緑のコーディネーター
田中節子



都市における緑化の推進、緑地の保全、都市公園の整備等に顕著な功績のあった民間団体又は個人を対象に、都市緑化功労者国土交通大臣表彰されるものです。

緑のコーディネーター 田中節子

夏の暑さの中の水やりは過酷です。一人では気持ちも体も萎えてしまうほどの暑さの中、会員のみなさんの励ましや手伝いで毎回楽しく笑顔で水やりができました。みなさんの花壇作りで花が咲いている姿に元気をもらい、ネイチャーウォッチ

ングやクラフト講座を通じて花や緑が持つ力、美しさ、癒やしを、人々と共に共有し、これからも活動を楽しく続けていきたいと思います。この度の賞は協会、会員の皆様の支えていただいた賞です。皆様に心より感謝申し上げます。

第76回

福岡県植樹祭
緑化功労者表彰
実行委員長賞

主催/福岡県、築上町



梅香る町梅林推進プロジェクト 代表 吉田由良

福岡県の緑化推進、森林の保全管理に大きく貢献された人を表彰するものです。



表彰式は築上町で行われました。その町の60%が森林だという「緑化功労賞」にふさわしい感じの町です。表彰対象は開催地の築上町の活動団体その他森林地帯や農村での活動グループが目立つ中、住宅街の中に放置されていた広い荒地を開墾して枝垂れ梅の並木道を創り、毎年そこに生い茂る雑草を刈り取っては発酵させて有機堆肥にし、植樹した枝垂れ梅たちに施肥するなど地球資源の有効活用いわゆるSDGsの一端もになっている当団体は異色を放っていました。どのグループも活動に子供たちも参加させ、今回の功労賞の表彰台にも子供たちを立たせるなど、次世代に繋いでいくための努力をされている様子が伝わってきました。

第35回

全国花のまちづくり
コンクール
優秀賞受賞

主催/花のまちづくりコンクール推進協議会



国際花と緑の博覧会の理念「自然と人間との共生」を継承し、花のまちづくりの発展及び花の社会性の向上を目的に、全国各地の優れた花のまちづくり活動を表彰するものです。

特定非営利活動法人はかた夢松原の会 副理事長 尾木幾子

特定非営利活動法人
はかた夢松原の会



副理事長 尾木幾子さん(右)

緑のまちづくり協会の紹介により、初めて応募したところ、優秀賞をいただきました。応募総数924件、大賞が5件、優秀賞が11件、奨励賞が6件でした。交流会では全国で活動をされている団体と意見交換し、殆どが散水を課題に挙げておられました。私たちのエリアでは花がきれいに咲くようにと毎日散水して下さっている沿道店舗や企業の方たち、マンション管理人の皆様

のご協力の賜物と感想させられ、感謝の気持ちでいっぱいです。紹介をいただいた緑のまちづくり協会に感謝すると共に、花でまちづくりされている団体にご案内したいと考えています。私たちは今後とも西日本短期大学の学生さんたちと一緒に花いっぱい活動に励み、福岡市の景観向上に寄与したいと願い、興味ある方のご参加をお待ちしています。

未来につなぐ 森プロジェクト

福岡市水源林ボランティアの会 西田正光



10月25日(土)福岡市水源林ボランティアの拠点、早良区曲渕ダムサイトで「昼はカフェ、夜はサカバ。」のプロント社員と公益社団法人日本環境教育フォーラム企画で未来につなぐ森プロジェクトを実施。小雨の中一部の人はカッパを着用しての、ストレッチ体操でアキレス腱を伸ばし、水源涵養林の小高い尾根の急坂を、息を切らしながら登ると雨も上がり活動開始。始めに、ヒノキの幹の下の位置から樹皮の少し奥まで手鋸で一周切り込みを入れ、金属の平串で皮を剥きました。

その皮を5人で持ち、「3、2、1」と号令をかけて一気に持ち上げると、黒褐色のゴツゴツした樹皮の下から淡いピンク色の木肌が現れ、皆さん感動しました。

さらにその木肌を触るとヌルヌルした水分でびっしょり濡れていて、二度目の感動がありました。中には舌で感触や食感を確かめる方もいました。これは立木のまま木の養分を遮断し枯らす、巻き枯らし方法。(右下の写真)

次にボランティアの会員がチェーンソーを使っての伐木を見学。初めて、目の前でバリバリと轟音を立てながら、木の倒れる様の迫力を見て又も感動。皆は倒れた木の枝を手鋸で落とす作業を体験。山から滑らない様注意しながら元の広場に下りてきて、ヒノキを丸太切りの馬に乗せ手鋸でコースター作り、手鋸での要領を直ぐ覚え、その匂いと切り口の美しさに魅せられ、今日参加できなかった人、家族の分と言って一人5~6枚も切って皮をそぎ形を整え、持ち帰り。昼食後は会員の講師で樹木の種類や、森の大切さ等の座学を受ける。最後はヒノキでのスプーン作り、最終のペーパーでの仕上げを実践、会員の師匠に注意を受けながら懸命に磨き無事完成。お土産に、この広場の脇にボランティアの会の自前の本格的炭窯で作った、化粧袋入り竹炭を受け取る。帰り際には今までの勢いのまま、会員作の竹とんぼで大人が童心に還り、竹とんぼを飛ばして遊ぶ、楽しい1日となりました。

今回は小さな始まりでしたが、コースターの年輪のように、このプロジェクトが1年1年大きくその輪を広がしてもらえば幸いです。



株式会社プロントコーポレーションと公益社団法人日本環境教育フォーラム（JEEF）は、協働プロジェクトとして「PRONTO LOVE GREEN～未来につなぐ森づくりプロジェクト～」を進めています。



樹皮を剥ぐ様子(巻き枯らし)

アジサイ鉢上げ

福岡市早良区飯場神社
R7年10月26日(日)



緑のコーディネーター 高井カホル

今春アジサイの挿木した分を大きいポットに植え替えました。170本出来上りよく根も育っているアジサイ。ポットに挿木したアジサイを植えて用土を入れ最後に指でアジサイの幹を軽く押さえて出来上り、水やりをして終了。

野河内往還の会が、農協組合より表彰状され、それが届いた所で会長さんに渡され皆さんで写真をとりました。終わって豚汁をいただきました。周辺を散策するともう春の植物が咲いていました。

散策で見つけた春の植物

- ホトケノザ
- シャクヤクの大きなつばみ
- キュウリグサ
- ハキダメギク

Before



After



私が3月に退職してから

9月30日(火)

西南杜の湖畔公園が出来てから17年間、花・植物・樹木・イベントなどに接して来ました。今年3月にやめ5ヶ月目ぐらいから、全体の力がぬけもう仕事しなくてよいと思ったら体の調子が悪くなり、あちらこちらが痛くなり、起床時とつてもたいへんでした。

今年の夏は気温が高く、雨は降らないし、9月に入りこれではいかんと自分をふるいたたせました、気になっていた花達はどうしているだろうか? 行ってみました。今まで見たことのない景色。植物達の生命力の強さ特に稻穀、もうびっくりです。これはいかんと思いつかず除草作業を手伝う。花たちが私の所の草も取ってと言うようで草を取ると下に来年の花芽が芽吹いている所でした。作業した手指は色は黒く、力強さが見られます。家に居る時の手はぶくぶくしていました。時間がある時は除草に行くよ。



福岡花フォト カレンダー 2026

福岡市の美しい花、
日々の暮らしの中にある花、
みんなの素敵な一人一花フォト。
インスタグラム@f.87photoで募集し、
シェアしていただいた中から、
カレンダーにしました。

※福岡市都市緑化基金に1部につき500円以上
募金の協力をお願いしています。



一人一花
福岡 花フォト
あなたの花フォトがカレンダーになるかも?



今回で15回目を迎えた「福岡市緑のカーテンコンテスト」では53作品の応募の中から受賞者が決定しました。受賞された緑のコーディネーターの松尾さんをご紹介します。

緑のカーテンコンテスト審査員

緑のコーディネーター本田あき子さんからの一言

一次審査の市民投票より出揃った作品をみて、圧倒されたのは、力作揃いであるということ。初挑戦の方やレジェンドまで創意工夫を凝らして見事な緑のカーテンを創り出しており、選考は難航しました。

今年の酷暑で水やりや日照りの管理にどれだけご苦労されたか、私自身も自宅で毎年ゴーヤやキュウリを栽培しておりますので、痛いほど伝わってきました。青々と茂った葉や結実で窓際を覆った姿は、視覚からも涼しくさせてくれます。栽培者からのコメントではいずれも室温を下げ冷房抑制に大いに効果があったようです。私達の力で少なからず CO₂ 削減や脱炭素社会に貢献できることがあるのだと気づかされました。

これからも私達緑のコーディネーターは、福岡の街に森林や花や緑を増やす活動を通して、地球温暖化や都市部のヒートアイランド現象の緩和の一端を担う者として自信をもって行動していくと思いました。貴重な学びの場に参加することができて本当によかったです。



ボタニカルライフスクエアのイベント情報は
こちらから

HP



Instagram



Instagramを開設しました!
フォローお願いします!

気になる話題にアクセス

西新小学校で開催された、バラ剪定の授業を見学してきました！

3年生の生徒全員が、1年間かけてバラの手入れをして学んでいく、というとても大きなプロジェクトです！

motto
くわしくはこちらから

スマホ講座を開催しました！(全2回)

緑のコーディネーター・緑の活動団体会員を対象に、スマートフォンの基本操作から写真の撮り方、LINEの活用方法まで学べる研修会を2回にわたり開催しました。

活動者のコミュニケーション力アップや、今後の活動記録に役立ててもらうことを目的としたものです。緑のコーディネーター、協会認定の緑の活動団体会員13名が参加。皆さん熱心に取り組まれ、和やかな雰囲気で学び合う講座となりました。

motto
くわしくはこちらから

舞鶴公園フラワーボランティアのfacebookより

西日本短期大学の学生さんたちが手伝いに来て下さいました。

花壇のレンガ張りの通路作成などの作業をこなす若い人のきびきびした活動に感激の1日でした。

motto
くわしくはこちらから

花の電話ボックス まち育ミライ イベントでの 花装飾

緑のコーディネーター
岩元敬子

電話ボックスをモチーフにした花のオブジェ装飾を作りました。電話ボックスは、私の年代にとってはどこか懐かしく、子どもたちにとっては“見たことのない電話機”として新鮮だったようで、大変好評でした。

主催者の方からは「シャッター音が鳴り止まないほど人気でした。素敵なおオブジェをありがとう」と、心に響くお礼の言葉をいただき、とても嬉しく感じました。

今回の装飾を通して、ただ美しいだけでなく、もう一步踏み込んだ体験を生み出す演出が大切だと改めて実感しました。見るだけではなく、“参加したくなる・写真を撮りたくなる”ような仕掛けや没入感こそ、人の心に残る装飾になるのだと思いました。

またこのような機会がありましたら、ぜひ挑戦したいと思っております。

ふくおかまち育ミライ×GreenSnap MarcheWEBサイト



香椎東公民館 植え替え

春から春まで

緑のコーディネーター 黒田智秋

11/8(土)、9(日)で行われる公民館の文化祭に向けて、秋～春花壇造りを行いました。

土作りや植え込みの際には、多くの方々にお声かけ頂き花への関心が高まって来ていると感じました。

夏花壇では、職員の皆さんのお世話や前期のお世話係の方にもアドバイスを得て、すくすく咲いてくれました。今後、寒さ対策、乾燥予防等も考えて冬を乗りきりたいと思います。



照葉の3小学校へ ハンギングバスケットをお届けしました!

アイランドシティ20周年秋祭りが11月15日に開催されました。イベントでは、福岡市緑のコーディネーター養成講座修了生の吉武多恵子さん、近藤由紀子さんが「花でつなぐ照葉20周年フォトスポット」を制作しました。地域の皆さんの願いや思いをブルーのリボンに結び、花で彩ったアーチです。



イベント開催から月末まで多くの方に楽しんでいただいた後、「思いを未来へつなぐ」という趣旨のもと、照葉はばたき小学校・照葉北小学校・照葉小学校へそれぞれ2基ずつお届けしました。手渡しの際には、水やりや手入れの方法もお伝えしました。

春ごろまで花を
楽しんでいただければ

照葉小学校 照葉はばたき小学校 照葉北小学校



花や緑のあるライフスタイルの魅力発信

at ボタニカルライフスクエアサロン

福岡市植物園内にある「ボタニカルライフスクエア」のサロンでは、令和7年度の試みとして緑のコーディネーターが装飾を手がけ、来園者に花や緑のあるライフスタイルの魅力をお届けしています。展示期間中、関連のイベントを行います。詳しくは右側のHPまたはインスタグラムから情報をチェックしてください。

12月のサロン装飾



メルヘンなクリスマス

緑のコーディネーター
小寺 福代

令和7年のあわただしさも、8年の幕開けは「おだやか」であります様に…と心を込めて制作しました。心安らぐ空間をお楽しみください。

》 1月のサロン装飾／新春はいけばなで



ふくおかまちづくり ボランティアよかよかクラブ

花びら会さんからいただいた百日草が元気に咲き誇っています。感謝です。愛情が感じられて、素晴らしいです。花も大きくて、東署や中学校や香椎宮、病院などにも生け込みに使わせていただきます。皆さん、癒される~と喜ばれています。

おおまち自然と緑を楽しむ会

野間大池公園花学校より頂いたカナの球根が育ってこんなに大きくなりました。来年が楽しみです!



福岡海浜スポーツ振興協会 (NPO海と風のがっこ)

愛宕浜小学校の子ども達と作成しました。貝殻がコスモスのようかわいいです。



赤坂花壇に花を咲かせ隊

警固公園で開催された一人一花ハロウインフェスの市民花壇コンテストに出展しました。タイトルは「にぎやかなハロウィンの夜」。

地域の森・花づくり活動団体の皆さまへ 下半期報告書をご準備ください

※同封の書類をご確認ください

ベスト電器スタジアムに アビスパ福岡をイメージした花壇が誕生！

11/22 アビスパカラーの花でいっぱいに

福岡市では、明治安田生命保険相互会社からの企業版ふるさと納税を活用して、花でアビスパ福岡をもりあげるプロジェクトをスタートしました。そのキックオフとしてサポートやボランティアの皆さんとともに花苗の植付けを行いました。



花で応援
NAVYプロジェクト
公式 LINE

緑のコーディネーターの田浦和月さん(写真左)に植付けを指導してもらいました。



2026 3.22 SUN - 26 THU
Fukuoka Botanical Garden
福岡市植物園

チケット販売中

購入方法など詳細は
特設サイトをご覧ください



FFS特設サイト

みんなで作るお花のオブジェ at. なみきスクエア(東区) 11月23日

「Fukuoka Flower Show 2026」に連動した取り組みとして、会場を訪れた皆さんと一緒に花でキービジュアルを装飾し、フォトスポットを作るワークショップが開催されました。講師を務めた緑のコーディネーターのお二人から感想が届きました。



緑のコーディネーター
柴田薫
眞崎久子

東区芸術文化祭 なみきスクエアで、フラワーフォトスポットの制作をおこないました。たくさんの方に喜んで参加していただき、11/23~11/27まで、なみきスクエアに設置していただきました。フラワーショーのPRにもなったと思いました。

投稿をお待ちしています

グリーンノートへの記事投稿は、原稿、写真を郵送またはメールにてお送りください。
2・3月号への投稿締切は1月23日です。

発行元・あて先

(公財) 福岡市緑のまちづくり協会 みどり課
福岡市中央区小笹5丁目1番1号
福岡市植物園 緑の情報館内

✉ ks@midorimachi.jp
📞 092-260-8816
📞 090-8463-9982
📞 092-401-1384



ホームページ